

茨城県で太陽光発電施設のケーブル盗難注意喚起ポスターを作成

～金属盗認知件数は2020年統計開始以来、4年連続最多～

日本損害保険協会関東支部茨城損保会(会長：上西 大介 東京海上日動火災保険株式会社 茨城支店長)では、茨城県内で太陽光発電施設での銅線ケーブル等の盗難が多発している状況を踏まえ、茨城県警察本部と連携して注意喚起するポスターを作成しました。

金属価格が高騰する中、全国的に金属の窃盗件数が増加し、社会問題となっております。警察庁の発表によると、金属盗の統計を取り始めた2020年以降増加傾向にあり、認知件数は、2023年が1万6276件で、2024年は更に前年を上回るペースで金属盗が発生しています。中でも2023年の茨城県の盗難件数は、2889件と全体の17.8%を占め、4年連続全国最多となっております。

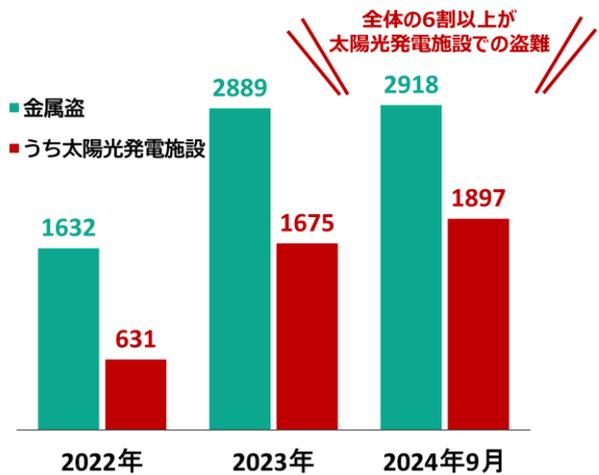
特に太陽光発電施設は、人目につきにくい場所にあることが多く、大量の銅線ケーブルが存在することから狙われやすく、茨城県警の直近の統計では、同施設での被害が全体の6割以上を占めています。窃盗被害を防止するためには、太陽光発電業者等による防犯対策が重要であることから、茨城損保会では県警と連携して防犯対策を呼び掛けるポスター500枚を作成しました。

ポスターでは、設備面での対策として「フェンスセンサー」「ワイヤーセンサー」などの警報装置の導入や「防犯カメラ」「防犯ライト」の設置を、運営面の対策として、こまめな見回りや夜間監視体制の強化など、複数の対策を実施することで、盗難しにくいと思わせる施設づくりを呼び掛けています。本ポスターは、茨城県警察本部および損害保険各社を通じて、県内の皆様に啓発します。

当支部では、今後も警察や関係各所と協力し、安全で安心な街づくりに向けた活動を推進していきます。



注意喚起ポスター



茨城県内金属盗難発生件数

※太陽光発電施設関係は手集計

茨城県警ホームページ「金属盗難に注意！」より
茨城県内金属盗発生件数

*以下 URL からポスター (PDF) をダウンロードいただけます。

https://www.sonpo.or.jp/news/branch/kanto/2024/pdf/2501_chi_rashi.pdf